

2023年9月

令和5年度

四万十町チャレンジ講座

第4回 ビジュアルレポート

作成：

高知大学 地域協働学部 コミュニティデザイン研究室



- 日 時：令和5年9月2日（土）13:00～18:00
- 会 場：四万十町役場 東庁舎1階 多目的大ホール
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「ずっと思い続けていた夢」や「好きだったけれどいろんな理由で諦めてしまったこと」、「ずっと心の中に引っかかっていたのに見て見ぬふりをしてやり過ごしてきてしまったこと」そういった思いを持っている方々を対象に全4回のチャレンジ講座を開催。「本当のわたし」から発せられる思いに対して、周りの目や評価を気にしないで「正直に向き合い、仲間と共に一歩踏み出してみる。」そんなきっかけづくりを行うことを目的とする。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
13:00-13:15	オープニング&チェックイン	・所属、今の気持ちと前回までのアクションについての共有、講座の内容についての説明
13:15-17:45	最終発表会	・全3回の講座やその間のアクションを通しての気づきや考えたことなどを資料にまとめ発表。
17:45-18:00	チェックアウト	・インプット、次回講座に向けた説明

Let's

令和5年度 四万十町チャレンジ講座

～自分と向き合い、「一歩」を踏み出そう！～

託児
あります

ずっと **思い続けていた夢** や、
好き だったけれどもいろんな理由で諦めてしまったこと。
ずっと **心の中に引っかかっていた** のに見て見ぬふりをして、
やり過ごしてきてしまったこと。

「本当のわたし」から発せられる **想い** に対して、
周りの目や評価を気にしないで **正直に向き合い**、仲間と共に一歩踏み出してみる。
そんな **きっかけづくりを行うことを目的** として開催されます。

こんな人におすすめ!

- やりたいことを見つけた人
- 自分1人では勇気がないが、誰かと一緒にやりたいことを一歩踏み出したい人
- 将来のこと、夢を見つけない人
- 自分の好きなこと、やってみたいことを実現したい人

スケジュール・内容

※会場は四万十町内となり、申込者に別途ご連絡いたします。

1 6/3(土) 13:00-18:00

「自分の棚卸しを行い、
自分の想いを知る」

ゲスト講師：田端 将伸 氏
(横瀬町役場職員)

自分のライフストーリーを共有し、受講者同士の対話を通じて、一人ひとりが自分自身の興味関心や大切にしたい価値観、自分自身の想いや原体験、問題意識に気づき、どう在りたいのか、どう生きていきたいのかに対する深い気づきを得ていきます。

3 7/29(土) 13:00-18:00

「小さな一歩を踏み出し、
気づきを深める」

ゲスト講師：小笠原 舞 氏
(保育士起業家/合同会社こどもみらい探求社 共同代表/asobi基地 代表)

マイプロジェクトに小さく取り組み、そこから得られた気づきや学びを受講者同士で共有し、プロジェクトをより具体的なものに修正していきます。

2 7/1(土) 13:00-18:00

「自分と紐づいた
マイプロジェクトを描く」

ゲスト講師：丑田 俊輔 氏
(ハバタク株式会社代表取締役/シェアビレッジ株式会社代表取締役)

興味関心があること、気になっていること、ずっとやってきたかったこと、こんなことをしてみたいと思っていることをプロジェクトとして描き、対話を通じて、自分との関係性やなぜそのプロジェクトに取り組みたいのかを丁寧に見つめ直していきます。

4 9/2(土) 13:00-18:00

「自分のチャレンジを宣言する(最終発表会)」

3か月間の学びと行動を踏まえ、これから自分自身がどんなマイプロジェクトに取り組んでいきたいのか、その背景にある想い、そして、どう在りたいのかを発表します。

主催：四万十町
協力：高知大学地域協働学部 コミュニティデザイン研究室

講座の進め方

参加者同士の
アクションと気づきをシェア

近況・アクションの共有

最近気になっていることや悩み、行ったアクションやそこから得られた気づきを受講者同士で共有し、相互に支え合う関係づくりを行います。

ゲストからの
お話

原体験・想い・価値観の共有

“私”を主語に自分らしい生き方をしているゲストのライフストーリーや大切にしている価値観、活動の背景にある想いを知る

参加者同士の
対話

自分と仲間を知る

対話を通じて、一人ひとりが自分と向き合い、仲間と向き合い、多様な価値観や考え方を共有することで気づきと学びを深めていきます。

ゲスト講師紹介

第1回

田端 将伸 氏

(横瀬町役場職員)

1974年、横瀬町生まれ横瀬育ち。地元の工業高校卒業、町内回覧で募集のあった横瀬町役場に勤務。地方公務員となる。税務課固定資産税担当、総務課財政担当、振興課観光担当を経て、まち経営課で民間・団体等との新しい関係性を築くための仕組み、官民連携プラットフォーム(通称:よこらぼ)の担当として現在に至る。ほか、劇団天末線で役者を演じたり、消防団をはじめとした地域の活動にも力を注ぐ。好きな言葉は「すべての原因は自分に」

第2回

丑田 俊輔 氏

(ハバタク株式会社代表取締役/
シェアビレッジ株式会社代表取締役)

福島県会津若松市生まれ。慶応大学商学部在学中にプラットフォームサービス業の立上げに参画。公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクエア」、日本IBMを経て、2010年にハバタクを創業、国内外を舞台に様々な教育事業を展開。2014年、秋田県五城目町に移住。田舎発起家を育む「ドチャベン」、古民家を舞台に地域を繋ぐ「シェアビレッジ」、遊休施設を遊び場化する「ただのおそび場」、住民参加型小学校建設「越える学校」支援等を推進。2021年、共創型コミュニティプラットフォーム「Share Village」を公開。

第3回

小笠原 舞 氏

(保育士起業家/
合同会社こどもみらい探求社 共同代表/
asobi基地 代表)

大学では福祉を学び、社会人経験を経て、保育士となる。こどもたちから得た学びを広げることが、「Well-being =誰もがよりよく生きる社会」につながると思い活動中。2012年子育てコミュニティasobi基地を、2013年には合同会社こどもみらい探求社を設立。2020年には、自主事業「おやこ保育園」をオンライン化し、全国の親子を対象に新しい子育て支援インフラを作っている。
著書:「いい親よりも大切なこと〜こどものために“しなくていいこと”こんなにあった〜」

講座概要

- 募集人員 10名程度を予定
- 受講料 無料
- 申込方法

右下のQRコードを読み込んで申込フォームから応募いただくか、お電話・メールにて **5月26日(金)** までに事務局にお申し込みください。

- その他
- ・全講座に参加できる人を優先させていただきます。
- ・講座内容及び開催場所に関する詳細情報は、受講生のみへ通知いたします。

【事務局】

四万十町役場人材育成推進センター(担当:中井智之・吉村愛)
〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榑山町3番7号
E-mail: 103060@town.shimanto.lg.jp
TEL: 0880-22-3163
FAX: 0880-22-3345

お申し込みは
こちら



テーマ	6/3 (土) 「自分の棚卸しを行い、 自分の思いを知る」	7/1 (土) 「自分と紐づいた マイプロジェクトを描く」	7/29 (土) 「小さな一歩を踏み出し、 気づきを深める」	9/2 (土) 「自分のチャレンジ を宣言する」
ゲスト	 田端 将伸 氏 (横瀬町役場職員)	 丑田 俊輔 氏 (ハバタク株式会社代表取締役/ シェアビレッジ株式会社 代表取締役)	 小笠原 舞 氏 (保育士起業家/ 合同会社こどもみらい探求社 共同代表/ asobi基地 代表)	最終発表会
内容	自分のライフストーリーを共有し、受講者同士の対話を通じて、一人ひとりが自分自身の興味関心や大切にしたい価値観、自分自身の想いや原体験、問題意識に気づき、どう在りたいのか、どう生きていきたいのかに対する深い気づきを得ていきます。	興味関心があること、気になっていること、ずっとやってみたかったこと、こんなことをしてみたいと思っていることをプロジェクトとして描き、対話を通じて、自分との関係性やなぜそのプロジェクトに取り組みたいのかを丁寧に見つめ直していきます。	マイプロジェクトに小さく取り組み、そこから得られた気づきや学びを受講者同士で共有し、プロジェクトをより具体的なものに修正していきます。	3か月間の学びと行動を踏まえ、これから自分自身がどんなマイプロジェクトに取り組んでいきたいのか、その背景にある思い、そして、どう在りたいのかを発表します。

四万十町役場

高知大学
地域協働学部
コミュニティデザイン研究室



須藤順

学生メンタ □



柳原伊吹
修士課程1年生



西上一成
学部4年生



杉田珠夢
学部3年生



田村敢
学部3年生



奈良可南子
学部2年生



濱口桃菜
学部2年生



足立風薫
学部1年生

1人ひとりが自分と向き合い、
一歩踏み出すきっかけづくりを行う
学びの場

ピアメンタリング

参加者同士の
アクションと気づきをシェア

近況・アクションの共有

最近気になっていることや悩み、行ったアクションやそこから得られた気づきを受講者同士で共有し、相互に支え合う関係づくりを行います。

インプット

ゲストからの
キーノートスピーチ

原体験・想い・価値観の共有

"私"を主語に自分らしい生き方をしているゲストのライフストーリーや大切にしている価値観、活動の背景にある想いを知る

ダイアログ（対話）

参加者同士の
対話

自分と仲間を知る

対話を通じて、一人ひとりが自分と向き合い、仲間と向き合い、多様な価値観や考え方を共有することで気づきと学びを深めていきます。

1

一人ひとりが自分の経験の中から、好きなこと、やってみたいことを明確にし、一歩踏み出す。

2

自分のプロジェクト（やりたいこと）を仲間と共にチャレンジする。

- ① 安心・安全の場をみんなで創ろう
- ② ありのままの自分を素直に出そう
- ③ 仲間・プロジェクトを評価しない
- ④ プロジェクトは変わってOK
- ⑤ お互いに貢献し合う

自分に基づいた (My)
「何かを、プロジェクトの形にして (pjt) やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく



※みんなで支え合いながら、
このサイクルを超高速で回していく

【me編シート】

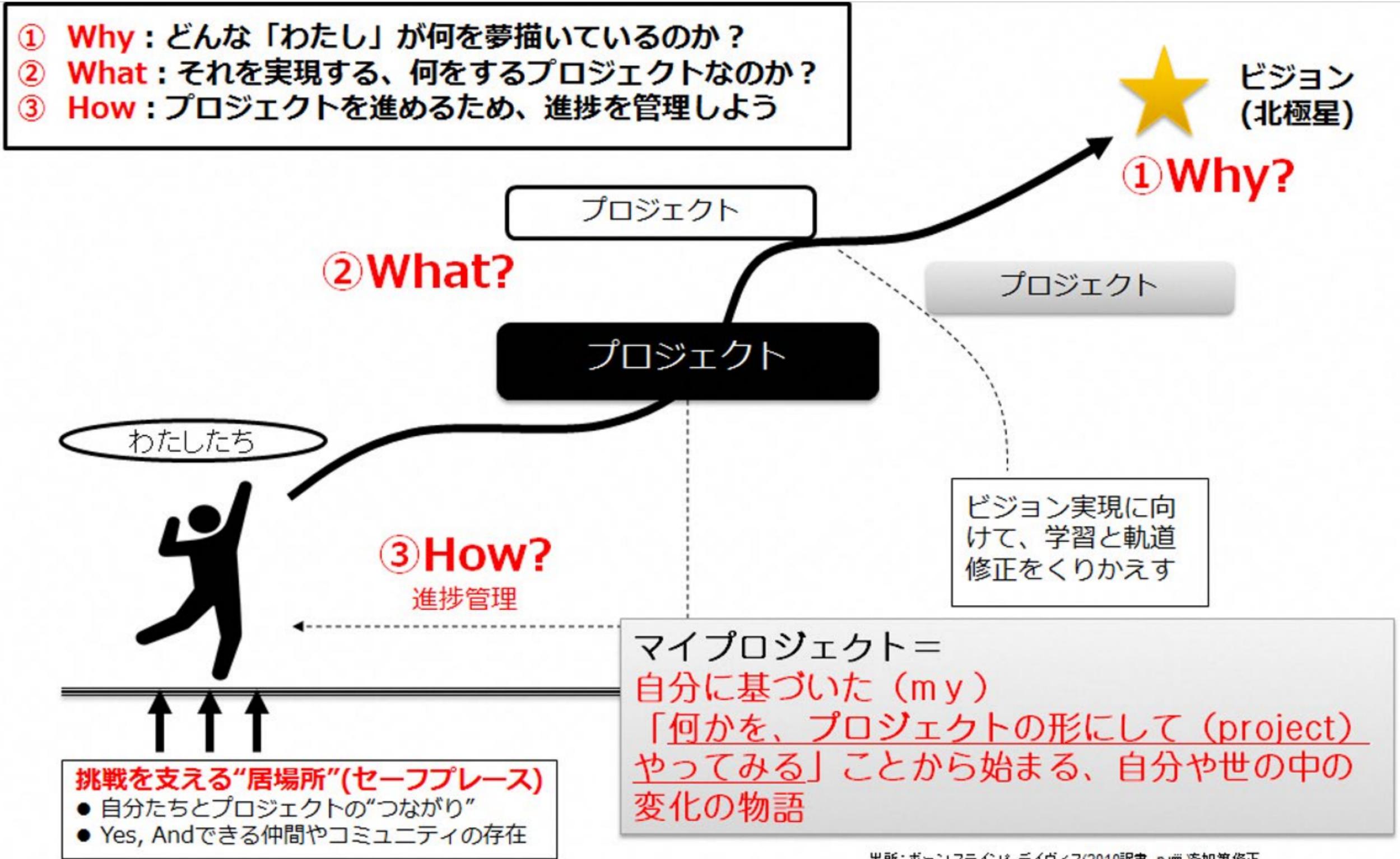
- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
 - ・自分の人生をグラフにしてみる
 - ・普段見せない自己紹介

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日: 場所:
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ヒストリー 昔 (~小学校)	人生グラフ: 横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見える化しよう!	
(~中学・高校)		
(~専門・大学)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
(~現在)		
↓	マイプロジェクトの源泉へ	

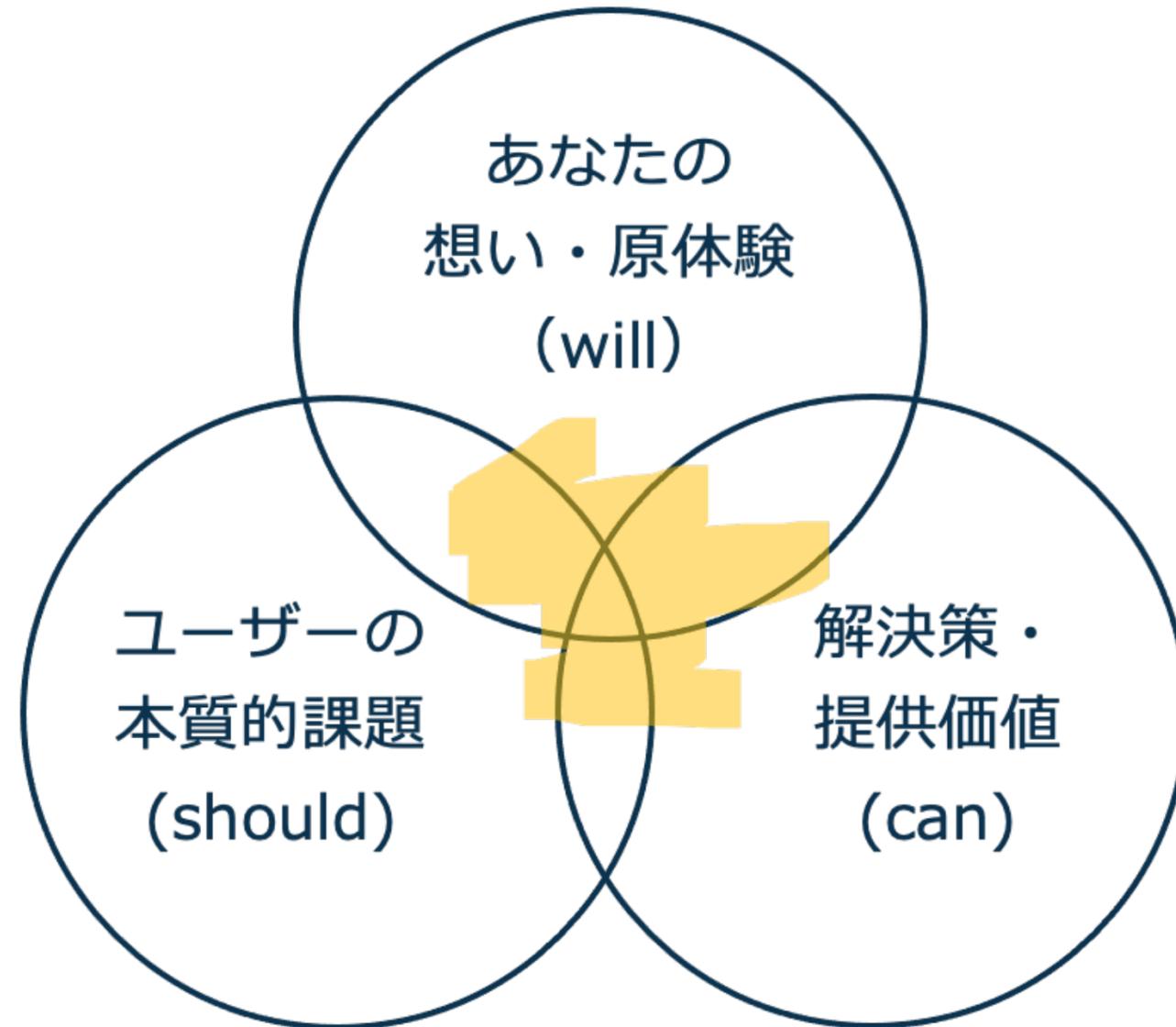
【project編シート】

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

PROJECT編	
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で!	
■実践したいプロジェクトの概要	
↑ ↓	
■「やってみたい!」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか?



出所: ボーンステイン& デイヴィス(2010訳書, p.100) を加筆修正
※ 井上英文作成



講座の様子



※家族



最初にチェックインとして「名前、所属、今の気持ち、前回までのアクション」について一人ひとり共有を行った。今回は最終発表会が行われるにあたって、「緊張している」、「講座期間中のことをしっかり発表したい」など発表に向けた意気込みや、「早くも講座が終わってしまう」と講座が最終回になってしまったことを惜しむ声などが聞かれた。講座開始前には受講生同士や受講生と学生の交流も多く見られ、和気あいあいとした明るい雰囲気の中で最終回の講座をスタートすることができた。



講座開始前の様子



チェックインをする受講生の様子



レクチャーを聞く受講生



チェックインをする受講生の様子



全体の様子



須藤によるチェックイン

全講座を通しての気づきや学びをもとに、受講生一人ひとりが最終発表を行った。講座でのゲストのお話や受講生同士の会話やフィードバックをもとに得た学びや気づきを資料にまとめ、個性が光る発表が行われた。発表の中では、アクションを写真を使って紹介するなど、講座期間中に充実したアクションや学びが得られていたことが伝わってきた。時間を超えて発表や質問が行われ、講座の中での自分の考えや気づきを懸命に伝える姿が印象的だった。発表後のフィードバックの時間でも受講生同士や須藤との対話が弾んでいた。



全体の様子



質問に回答する受講生の様子



発表を聞く受講生



発表を行う受講生の様子



メッセージカードを書く学生



受講生の発表の様子

最終発表が終了した後、講座を総括するチェックアウトが行われた。須藤から講座をまとめるレクチャーが行われ、その後川上課長から講座を総括したコメントがあった。最終発表を終えた受講生はやり切った、とても良い表情をしており、チェックアウト終了後には「プロジェクトを一緒にやってみよう」などこれからもお互いに支え合う繋がりができていたり、「発表についてもっと詳しく聞きたい」と話が弾んだりと活気のある雰囲気の中で講座を締めくくることができた。



須藤によるレクチャー



チェックアウトをする受講生の様子



川上課長からのコメント



話に耳を傾ける受講生



集合写真



レクチャーを聞く受講生

問い合わせ先

四万十町役場人材育成推進センター

担当：中井智之・吉村愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榑山町3番7号

E-mail : 103060@town.shimanto.lg.jp

TEL : 0880 - 22 - 3163 FAX : 0880 - 22 - 3345

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL : 088-788-8077 FAX : 088-888-8043

E-mail : j.suto@kochi-u.ac.jp

Web : <https://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。